

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 27 年 11 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況（図 1～6）

24日に気象庁が海上から実施した観測では、従来から認められている噴気の状態に特段の変化は認められませんでした。

29日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、硫黄岳火口内では特段の変化は認められませんでした。グスク火山の北側火口壁及び火口内で白色噴気が認められました。

硫黄鳥島の西側海岸線に沿って長さ約 500m、幅約 150m、東海岸中央付近の海岸線に沿って長さ約 300m、幅約 50m の青白色の変色水が認められました。

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

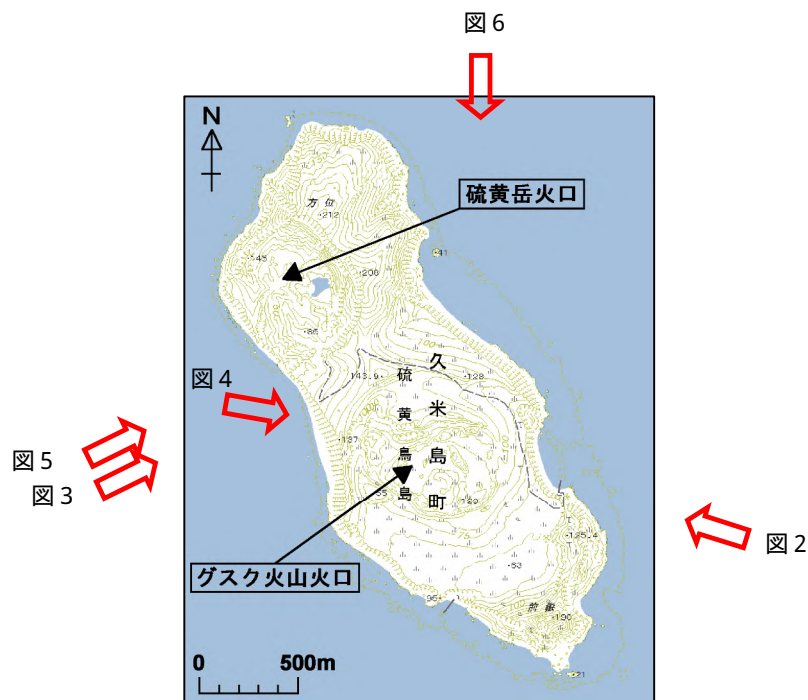


図 1 硫黄鳥島 火口位置図と各図の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。



図2 グスク火口付近の状況(24日)



図3 硫黄岳火口付近の状況(24日)

- ・24日に気象庁が海上から実施した観測では、従来から認められているグスク火口や硫黄岳火口の噴気の状況に特段の変化は認められませんでした。



図4 グスク火口北側火口壁(左側)及び火口内の噴気(右側)の状況(29日)
(第十一管区海上保安本部提供)

- ・グスク火口北側火口壁及びグスク火口内にそれぞれ白色噴気が認められました。

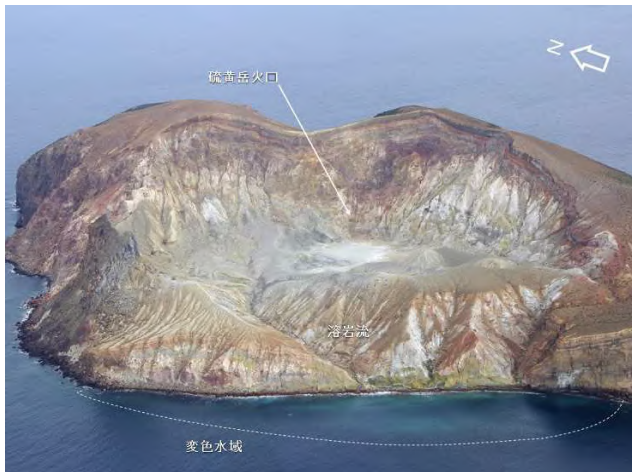


図5 硫黄岳火口西側海岸線の変色水域の状況
(29日) (第十一管区海上保安本部提供)



図6 硫黄鳥島東海岸の変色水域の状況(29日)
(第十一管区海上保安本部提供)

- ・硫黄鳥島の西側海岸線に沿って長さ約500m、幅約150m、東海岸中央付近の海岸線に沿って長さ約300m、幅約50mの青白色の変色水が認められました。